

令和6年 5月 1日(水) 中央学校給食センター

【献立名】 たけのご飯 牛乳 さわらの香味焼き
もやしの甘酢和え えのきのみそ汁 かしわもち



【ひとロメモ】

こどもの日の行事食について知ろう

(食文化)

5月5日は「こどもの日」ですね。「端午の節句」ともいわれ、男の子の成長を祝う日とされてきました。

端午の節句に食べるものには、「ちまき」と「かしわもち」があります。「ちまき」を食べる風習は中国から伝わりました。一方、「かしわもち」を食べる風習は日本で生まれました。江戸時代、武士の家では自分の家を代々受け継いでいくことがとても大切でした。「かしわ」の葉っぱは、次の年に新しい葉っぱが出るまで木から落ちないことから、家系が途絶えないようにと縁起をかついで、かしわもちを食べるようになったそうです。

このように行事食には、時代の歴史がかくされているのですね。

令和6年 5月 1日(水) 第二学校給食センター

(献立名) たけのごはん 牛乳 さわらの香味焼き
もやしの甘酢あえ えのきのみそ汁 柏もち



【ひとロメモ】

こどもの日の行事食について知ろう

(食文化)

5月5日は「子どもの日」ですね。「端午の節句」ともいわれ、男の子の成長を祝う日とされてきました。

端午の節句に食べるものには、「ちまき」と「かしわもち」があります。「ちまき」を食べる風習は中国から伝わりました。一方、「かしわもち」を食べる風習は日本で生まれました。江戸時代、武士の家では自分の家を代々受け継いでいくことがとても大切でした。「かしわ」の葉は、次の年に新しい葉が出るまで木から落ちないといわれています。5月5日の端午の節句にぴったりの縁起のよい、食べ物として[かしわもち]が食べられるようになりました。

このように行事食には、時代の歴史がかくされているのですね。

令和 6年 5月 1日 (水)

飯山学校給食センター

【献立名】 たけのごはん 牛乳
さわらの香味焼き もやしの甘酢あえ
えのきのみそ汁 柏餅

《今日の丸亀産の食材》
葉ねぎ、玉ねぎ



【ひと口メモ】

端午の節句

(食文化)

今日のめあては「端午の節句について知ろう」です。

5月5日は「子どもの日」ですね。「端午の節句」ともいわれ、男の子の成長を祝う日とされてきました。

端午の節句に食べるものには、「ちまき」と「かしわもち」があります。「ちまき」を食べる風習は中国から伝わりました。一方、「かしわもち」を食べる風習は日本で生まれました。江戸時代、武士の家では自分の家を代々受け継いでいくことがとても大切でした。「かしわ」の葉は、次の年に新しい葉が出るまで木から落ちないといわれています。5月5日の端午の節句にぴったりの縁起のよい、食べ物としてかしわもちが食べられるようになりました。

このように行事食には、時代の歴史がかくされているのですね。